

民間企業経験者からの提案



相双建設事務所
河川・海岸課 技師 熊谷彬

(～組織の発展～)

取組場所: 相双建設事務所 復旧・復興部 河川・海岸課

1. はじめに

ここ数年、復旧・復興による業務量増大に伴い、民間を経験した新規採用職員や任期付職員の採用が多くなっている。その中で民間企業経験の視点から、土木部組織へ提案できるものはないかと考えた。

2. 目的

民間経験者の業務の手順や方法について、提案し浸透させるとともに、組織として継続できる仕組みを構築できるよう取り組み、一人ひとりの成長と組織の発展を促すことも目的とする。

	新規採用職員					
	相双建設事務所		%	河川・海岸課		%
		民間			民間	
H25	17	11	65%	1	1	100%
H26	12	6	50%	3	3	100%

3. 内容



参加者 5名の経歴

- ・建設会社役員
- ・建設会社従業員2名
- ・測量設計会社従業員
- ・印刷会社従業員

手順

- ・民間経験者からの「改善点」
- ↓
- ・改善点から「方針」
- ↓
- ・各方針から「取組」
- ↓
- ・取組んだ「結果」から「方向性」
- ↓
- ・「組織の発展」

「改善点」

① コミュニケーションの場

- 役所は言葉よりも書類を重んじる組織である。
- 言葉での情報共有が少ない。
- 担当業務が多く、周囲の業務が分かりづらい。

② 学ぶ環境

- 現場での技術を学びづらい環境にある。
- 有資格者が少なく技術力が乏しい。

③ コスト意識

- 利益追求を目的としていない組織である。
- 物品の値段を把握しづらい環境である。
- 印刷の枚数が多い(ムダが多い)。
- 常に物品がある為、贅沢な環境にある。

「改善点」

① コミュニケーションの場

② 学ぶ環境

③ コスト意識

「方針」

① 場の構築

② 学習の浸透

③ 意識の徹底

「取組」

① 朝礼・終礼の実施

② 多種多様な現場の経験

③ 価格の見える化



① 業務の予定や成果の確認



② 現場にて直接指導



③ 物品価値の見える化

「結果」

- ① 職場内でのコミュニケーションが充実
- ② 現場に行く機会が増え、様々な経験を蓄積
- ③ 物品に対しコスト意識が向上

「提案」

「方向性」
人から学ぶ
現場から学ぶ

一人ひとりの成長

4. おわりに

今後も民間企業で実践している取組みを本事務所に浸透させ、一人ひとりの成長に繋げるとともに、組織の発展に貢献したい。

「組織の発展」